



くらしの健康

平成28年9月 第35号

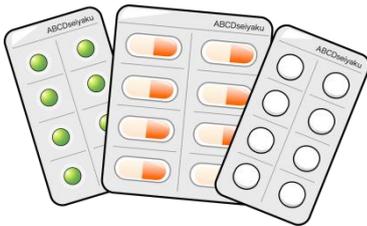
目次

○ 薬剤耐性菌の現状について

○ 東京都薬用植物園の行事予定



～薬剤耐性菌の現状について～



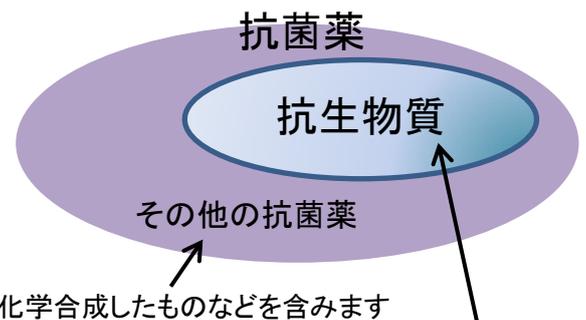
最近、ニュース等で「薬剤耐性菌」という言葉を耳にする機会が増えたかと思います。東京都健康安全研究センターでは、日頃より感染症対策に関連する調査研究業務を行っていますが、今回はこの薬剤耐性菌についての情報をお届けします。

抗菌薬＝細菌を退治する薬

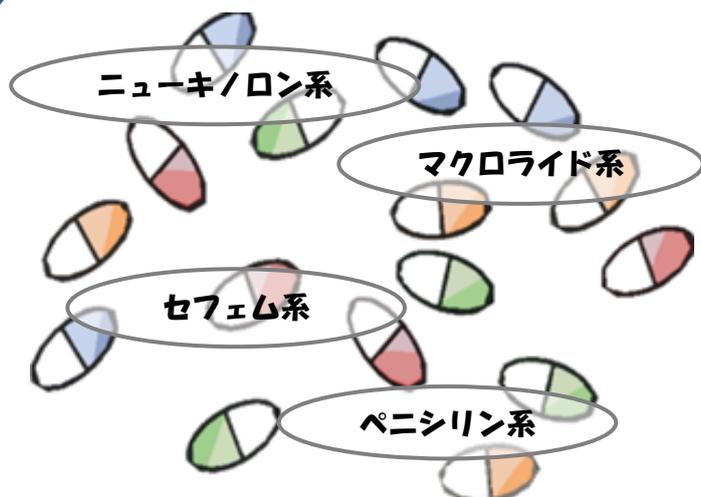
薬剤耐性菌とは何かということをお話する前に、切っても切れない関係にある「抗菌薬」について知っておく必要があります。体の不調などで病院に行くと、「抗菌薬」、あるいは「抗生物質」といった薬を処方されることがあるかと思います。

抗生物質は抗菌薬に含まれ、病気を引き起こす細菌を退治する効果があるものです。抗生物質は、微生物が産生する物質を薬にしたものですが、近年では微生物ではなく、化学合成でつくられるものも増えてきています。これらを合わせて抗菌薬と言います。

抗菌薬は、病気を引き起こす細菌を退治するものなので、ノロウイルスやインフルエンザウイルスのような「ウイルス」には効き目がありません。ただし、ウイルスの感染によって体の免疫力が弱まり、細菌の攻撃を受けやすくなっていることが心配される場合には、細菌感染による合併症を防ぐために抗菌薬を使用する場合があります。



微生物が産生する物質で、抗菌作用のあるもの。結核菌を治療できるストレプトマイシンは、土壌の中に生息する放線菌という微生物から発見されました。



それでは、薬剤耐性菌とは何かというと、抗菌薬が効かない細菌のことです。

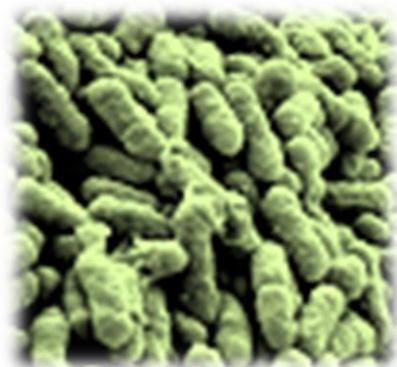
抗菌薬にはたくさんの種類がありますが、どの細菌感染症にはどの種類の抗菌薬が効くかを医師は知っています。抗菌薬の中には副作用の強いものもあるため、患者の年齢や基礎疾患なども含め、総合的に見て適切と判断された抗菌薬が処方されます。

しかし、一定の期間、投与しても症状が良くならない場合があります。そのような場合は、感染している細菌がその抗菌薬に対して薬剤耐性菌である可能性があるため、別の抗菌薬に切り替えて治療を続ける事があります。例えば、急性副鼻腔炎などではペニシリン系やセフェム系抗菌薬が用いられることが多いですが、これらの効果が芳しくない場合は、ニューキノロン系やマクロライド系といった別の種類の抗菌薬に切り替えられる場合があります。

スーパー耐性菌って？

「スーパー耐性菌」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。2016年夏季オリンピック開催前、ブラジル・リオデジャネイロの海岸で検出されたことがニュースでも取り上げられました。

スーパー耐性菌とは、薬剤耐性菌の中でも、「ほとんどの抗菌薬に対して抵抗性を持った細菌」の総称です。スーパー耐性菌という言葉自体は、医師をはじめとする医療関係者が使う言葉ではなく、どちらかというとテレビのニュースや新聞などの情報メディアで用いられていることが多いようです。



スーパー耐性菌の一種、「薬剤耐性緑膿菌」(電子顕微鏡写真)

「スーパー耐性菌が出現した」というと、未知の微生物が発見されたように想像してしまいがちですが、細菌の種類自体は新発見というわけではなく、既知の細菌の中で抗菌薬に強い抵抗力をもったものが出てきたことを意味します。菌自体はさほど病原性の強いものではありませんが、ヒトの体内で血流に乗って全身に広がってしまうなど、一度病気を引き起こすと治す手段が限定され、治療がかなり難しくなります。

具体的には、①「膿を取り出す」というような物理的に菌を体から排除する方法、②自然治癒を促す方法、③副作用の強い別の抗菌薬を利用する方法などです。通常であれば抗菌薬で比較的容易に治療できていたところ、耐性菌による感染症を治すためには時間も手間もかかり、患者さんにも負担がかかります。

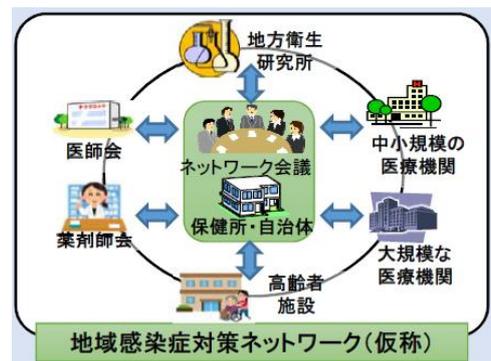
国内外における薬剤耐性菌に向けた対策

細菌の進化は驚異的で、この 70 年間、新しい抗菌薬が開発される度に抵抗力のある薬剤耐性菌が生まれてきました。現在、新薬開発のスピードは細菌の進化に追いついていない状況です。

2015 年、世界保健機構 (WHO) 総会において薬剤耐性菌に対するグローバル行動計画が採択され、加盟国には 2 年以内に国家行動計画の策定・実行が要求されました。また、2015 年の G7 エルマウ・サミットでは先進諸国間で細菌の薬剤耐性化を防ぐことで意見が一致しました。

これを受け、厚生労働省において、「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」のもと、「薬剤耐性に関する検討調整会議」が設置され、2016 年 4 月 5 日、同関係閣僚会議において、薬剤耐性 (AMR) アクションプランが決定されました。

アクションプランでは、地域における感染予防・管理を行うためのネットワークづくりや、抗菌薬を含む抗微生物薬の適正使用の推進などの施策が打ち立てられています。



「薬剤耐性 (AMR) アクションプラン」の一部 (厚生労働省ホームページより)

なお、東京都健康安全研究センターでは、都内医療機関の協力のもと、薬剤耐性菌の動向を経年的に調査しています。リンク→<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/epid/y2015/tbj3603/>

私たちにできること

健常者の体の中には無数の細菌が共存しており、これを常在菌といいます。たとえ外から体の中に薬剤耐性菌が侵入したとしても、それら常在菌を押し退けて体に蔓延することは稀です。しかし、抗菌薬投与中は、他の常在菌に比べて生存力が強い薬剤耐性菌が体の中で勢力を強める可能性が出てきます。また、抗菌薬に対抗するために、常在菌が薬剤耐性菌に進化する場合があります。

このため、薬剤耐性菌から体を守るためにも、抗菌薬の乱用は避けましょう。医師の判断に従い、必要なときに必要な分だけ使用し、個人の判断で使用するのは控えることが大切です。

< 抗菌薬使用の注意点 >

受診し処方された場合に飲む



医師の指示した時間と量を守る



服用の中止は医師に相談



残っている抗菌薬を自己判断で飲まない



■ イベント情報 ■



東京都薬用植物園の行事予定



東京都薬用植物園では、季節ごとに様々な行事を開催しております。

秋の薬草観察会

- (1) 会場：東京薬科大学 薬用植物園（東京都八王子市）
- (2) 定員：先着 40 名（事前申込み）、参加費無料、
ただし団体傷害保険料 100 円負担あり
- (3) 申込み：9 月 30 日（消印有効）までに往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、薬用植物園（〒187-0033 小平市中島町 21-1）内東京生薬協会へ申込み。申込み多数の場合は抽選。10 月 7 日までに結果をお知らせします。
集合場所・集合時間も後日ご案内いたします。
薬剤師の方で認定薬剤師受講シールをご希望の方は、その旨を記載してください。

※雨天中止

10/16(日)

先着 40 名

事前申込み制

薬草教室について

1 「植物の香りに学ぶ」

- (1) 会場：東京都薬用植物園 研修室
- (2) 講師：柏木 光義
（花王株式会社 香料研究室第3室室長）
- (3) 定員：先着 100 名（当日受付）、参加費無料



当日先着 100 名

10/25(火)

午前 10 時から
11 時 30 分

2 「漢方で寒い冬をのりきろう！

～冷えやかぜの対策は万全ですか？～

- (1) 会場：東京都薬用植物園 研修室
- (2) 講師：新井 信（東海大学医学部 准教授）
- (3) 定員：先着 100 名（当日受付）、参加費無料



当日先着 100 名

11/16(水)

午前 10 時から
11 時 30 分

詳細については東京都薬用植物園へ（電話：042-341-0344（代表）、午前 9 時から午後 5 時）
休園日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）



発行 東京都健康安全研究センター

HP 東京都健康安全研究センター

住所 〒169-0073

<http://www.tokyo-eiken.go.jp/>

東京都新宿区百人町三丁目24番1号

感染症情報センター

電話 03-3363-3231（代表）

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>

Mail www@tokyo-eiken.go.jp

都内の環境放射線測定結果

<http://monitoring.tokyo-eiken.go.jp/>